

雜 錄

研究心に富める關西保育界

倉 橋 生

余が始めて關西保育界に接する機會を得たのは昨年五月京阪神三市聯合保育會總會が神戸に開かれた時であつた。其の時三市はもとより關西諸縣より會合せられた會員及會員外諸君の數が千に近き大數に及んで居ることを見て、余の目は先づ關西保育界の盛況に驚かされたのであつた。更にその會場に充溢せる熱心なる氣勢は、汽車の旅に疲れた余の精神にも最快き緊張を與へて、此の種の壇上として聊か程が過ぎたかと思はるゝ位の言ひ度い放題を述べたことであつた。之れが關西保育界に余の所思を聽いて貰つた初めてであつた。

ついで昨年九月上旬、大阪市西區保育會主催の講習會に於て一週間の保育講習を試みることになつた。余が大阪市保育界の多數の方々と親交の

幸を得たのは此の一週間の實に何よりの賜であつた。而して神戸の會に於て先づ其の盛況に驚かされた余は、更に進んで、當時關西保育界の裡に磅礴せる活潑なる研究心に驚嘆したのであつた。

今思ひ出せば、此の一週間は實に愉快なる多忙であつた。保姆諸君は總ての時間と總ての機會とを爭ひ利用して、保育改善のために、余が所有して居そうに見えたあらゆるものを、一つでも多くしぼり取らんとせられた。但し余が此の人方の要求に對して日々辛じてしぼり出し提供し得たものは、鹽辛き汗のしづくに過ぎなかつたから、結局諸君の得られたものは失望に過ぎなかつたこと、其時も今も思つて居る。

東京に歸つてから雁のたよりに聞く其の後の消息は更に／＼愉快なことが多くあつた。僅か一週間の、意あれども言葉足らぬ余の講義が、恰かも折からの秋扇と共に、淀の川波に投げすてられの運命には逢はなかつたといふことは、正直のところ

尠からぬ愉快を心に覺えたのであつた。西區の保姆諸君は余の講義筆記をもとゝして久しく其の討究會を續けられたといふことであつた。京都では講演の要目を印刷して特に朝尾氏が數回に亘つて其の紹介の勞をとつて下さつたといふことであつた。又神戸でも綿密な復習會を催されたといふことであつた。當時書信でもそれ等のことを知り、今また親しくそれ等のお話を聞いて、余は余のつまらない講演に對して、それ程眞面目な注意を拂つて下さつたことに就て、衷心の感謝を禁じ得ないのである。しかも眞に此の熱心を生んだものは何か。勿論余の講義ではない。關西保育界の裡に躍動せる活潑なる研究心そのものである。之れは言ふ迄もないことである。而して余の感謝の情は轉じて敬嘆の念とならざるを得ないのである。

今回大阪市東南北三區保育會の聯合主催によつて再度の保育講習を楠市視學を経て依頼せらるゝに及んで、此の敬嘆の念は重ねて加増せられざる

を得なかつた。殊に學年末の此の最多忙なる時期を以てして迄、新學年度よりの保育改善に資する所あらんとするといふ熱心なる趣旨に對しては、余は余自身の都合を何とかして繰合はすことを、光榮ある當然事と思つたのである。

東京を立つ時の春雨は、夜と共に晴れた。關西の山、關西の野、もの皆に若芽新らしく萌えいづる春の初めの新鮮なる光景は、爽かな朝の日光のもとに、すが／＼しき朝の空氣の中に、潑潑として展開せられて居た。千代女句あり『春雨や美しうなるものばかり』敢て此の名句を借りて關西保育界の前途を祝ふ。

* * *

大阪に來て新らしく聞いた嬉しい話は尠くない神戸幼稚園の望月園長を中心として、モンテツソリーの熱心なる研究及其の新工夫の如き、實にめざましいものである。また西區保育會が來月を俟つて京都大學の野上君に依頼し『兒童の心理的發

達を重んずる教育』と題し十回に亘る講習會を催すといふ話と、神戸で同じく京都大學の檜崎文學士に依頼して、長期の研究を催すといふ話とは、

關西保育界の如何に益々研究心の豊かなるかを語るものであると共に、其の當地方保育全體の上に與へらるべき大いなる効果を思ふて、實によりこびに絶えないのである。そこで諸君は、言ふ迄もなく此の好機會を、出來得る限り充分に利用することを忘れないようにせられなければならない。

一生懸命兩講師の打出の大槌から、一つでも多く貴き智識の寶を領けて貰ふようにしなければならぬ。引き出せば引き出すだけ、よい寶の澤山に出で來るのが此の打出の大槌である。諸君の方でくだらん遠慮や、根氣まけをするようなことがあつては決してならない。又兩講師をたいに今回のみならず、將來長く幼稚園教育に生擒つておくことも忘れてはならない。大切な我が帷幕の將となつて貰ふことを忘れてはならない。之れは關西

保育界の親友の一人として余の眞實なるよろこびとおすゝめとである。

終りに臨んで、今回東南北三區保育會役員諸君の御款待と、其他舊知諸君の變らざる御厚誼とを深謝致します。(筆を措て目を放てば、澱川の春水漾々として樓下を流る。三月二十四日大阪客舎にて)

○盲兒幼稚園

(『人性』第九卷第三號所載)

數個月前、伯林市ナウニン街に盲者幼稚園設立せられたり、これ歐洲最始のものにして、恐らくは全世界に於ける此種の設備の嚆矢たるべし。五官不全の兒童の學校教育は、普魯西に於ては、聾啞及び盲兒の教育に關する規定に據て取扱はるゝも、學齡前に於ける此等不幸のものに對しては未だ何人も著手せざる所なりき。保姆を雇ふことも家族がこれを世話する時間もなき貧窮の狀態に於て成長する所の盲兒は、その精神的發達の甚しく

劣れるは勿論、その氣分及び性格も、放置と寂寞と無爲とに由て著しく障礙を被むるものにして、

往々學校に於て教育を進むるの基礎を缺くものなり。この盲者幼稚園の設立は恰もこの不良狀態を救ふものと謂ふべきなり。唱歌に連れて行ふ所の輪舞の如き、普通のものゝ爲す所の幾多のものは盲者幼稚園に於ても應用することを得れども、その他のものは小兒の特性に適合せるものならざるべからず。最初は往々全く痴鈍の小兒も、著しく迅速に發達し、精神も活潑になるを観る、故にこの新保護施設は彼等の爲には大なる恩恵たることを知るべきなり、是を以て、その一般に普及せられむことは大に希望する所なりとす。

○日本兒童學會春季總會

日本兒童學會にては五月四日（第一日曜日）午前八時より醫科大學法醫學教室（赤門内）に於て春季總會を開き、宿題たる不良少年問題及兒童食品問題の報告並に兒童學に關する諸氏の講演ある由。本會々員諸君には最有益なる講演會と思ひます。聽講隨意。

會 告

○本會總會

フーベル會十第八回總會は廣告の通り本月二十日（日曜）午前九時三十分より東京女子高等師範學校附屬幼稚園に於て開催いたします。今回は前號に豫告の通り、會則の一二變更及び、幼稚園保姆養成の件等につき緊急なる御協議を願ひ度く特に會員諸君の多數御出席下されんことを切望いたします。又演説としては文學博士吉田熊次氏は「兒童に對する觀念の變遷」と題し、文部視學官横山榮次氏は「教育系統上幼稚園の保つべき地位」と題し、共に最も有益なる御講話がある筈であります。その他懇談に陣列に、つとめて有益と興味とを期し度く委員に於て準備中であります。會員外諸君も亦御來聽を希望いたします。尚ほ同日は午前午後に亘り開催の都合につき御來會の上御希望により辨當（十五錢）の御注文に應ずべき準備があります。

○保姆の紹介

東京市内幼稚園へ保姆希望の人数名と地方にて保姆を索むる幼稚園とあり。

右御希望により本會事務所宛委細封書（返信封封入）にて御申越有之候は、御交抄の御取次可致候。